



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2021.1月号

新型コロナウイルス感染症に伴う当館の対応について

常設展示	開催中	○今後の状況により、開館日や行事の予定などが変更となる場合があります ○ご迷惑をおかけして大変申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いします
プラネタリウム	当日受付※	
イベント	申込制	

※プラネタリウムの観覧方法等の詳細は2ページを参照



「あぐまっばらい」のお面

むかし、1月14日のせーとばれえ（道祖神祭）の夕方、根坂間の根岸集落の子どもたちは、このお面をかぶって、集落の一軒一軒を「あぐまっばらい」に歩いた。お注連をつけた櫛を手に手に持ち、部屋の中まで上がってお祓いした。祓われた悪魔は道祖神へ送り出され、どんどんやきの火で焼き上げられ、人々は一年間の無病息災を祈ったのである。

道祖神祭りにおける子どもたちの「あぐまっばらい」は足柄上郡など県西部に顕著にみられた風習である。市内でも旭や金田の一部でおこなわれていた。入野では、「疱瘡も軽く、麻疹も軽く、あぐまっばらい」と唱えて祓った。根坂間の「あぐまっばらい」の木製面は、市内では他に現物を確認できない稀少なものである。2階に常設展示されているので、ご覧いただきたい。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて昨年社会を震撼させた新型コロナウイルス感染症は未だ収束する様子を見せていません。感染の拡大を防ぐための注意深い行動がまだまだ求められる日々が続きます。さらに感染症終息後も「新しい日常」という、これまでとは違った生活が予感されています。なかでもリモート会議やテレワーク、キャッシュレス決済など、対面や接触の機会を最低限に抑えた社会の体制が一気に進む気配があります。当館でもホームページ上で「おうちで楽しむはくぶつかん」をスタートさせ、家にいながら博物館のノウハウを楽しむ方法を模索しています。

しかし、このような日常が定着していくのでしょうか。IT技術を駆使した様々なシステムは大変便利なものですが、人と人が実際に会って話すことの大切さが改めて認識されているのではないのでしょうか。ややもすると便利さだけが独り歩きしていた状況が変わるかもしれません。博物館が所蔵する資料についても、写真や動画で見ることと実物と対面することとは全く異なります。一日も早く多くの皆さまに安心して来館いただける「これまでの日常」が戻ってくることを願ってやみません。

相模国の疫病記録で最古のものは奈良時代の終わりころ、文武天皇の大宝三年（703）五月に相模国に疫病があり、薬を供給して救ったという記事があります（続日本紀）。今から約100年前に流行したスペインかぜでは、全世界で約6億人が感染したとされています（東京都健康安全研究センター年報による）。今、私たちは大きな歴史の一場面に直面しています。人類が長い歴史の中で幾度も乗り越えてきた病との戦いに、力を合わせて打ち勝ちましょう。

令和3年（2021）春 平塚市博物館 館長 栗山雄揮

寄贈品コーナー展示

相模川 VS 酒匂川

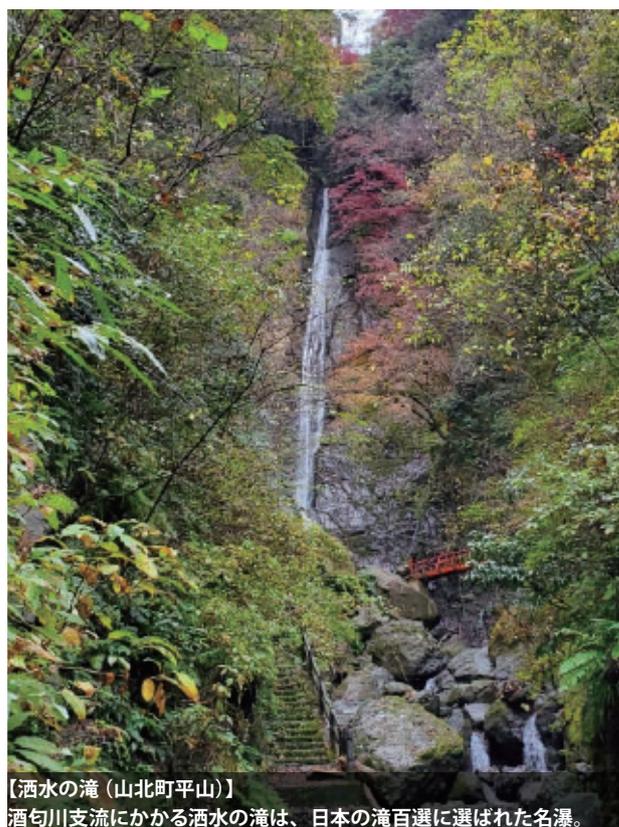
- プレート境界に生まれた河川 -

会期：1月21日(木)
～3月12日(金)

山梨県から神奈川県をまたいで、平塚で相模湾にそそぐ相模川は、500 万年以上前のプレート境界にできた川です。そして静岡県から神奈川県をまたいで、小田原で相模湾にそそぐ酒匂川は、現在のプレート境界上を流れる川であり、二つの河川は世界でもまれな生い立ちの、いわば兄弟のような川なのです。本展示では、そんな神奈川県内を流れる二つの川にスポットを当て、その成り立ちや、地質学的な見どころ、美しい景観などをご紹介します。



富士山東麓を源流とする酒匂川。



【洒水の滝(山北町平山)】
酒匂川支流にかかる洒水の滝は、日本の滝百選に選ばれた名瀑。

★ 1月のプラネタリウム ★

10月より定員を増やし、また投影時間を従来の50分へと戻しました。1月のテーマは「2021年の天文現象」です。当日に配布する整理券をお受け取りになった後に観覧券をお買い求めいただく方式には変更ありません。詳細は以下をご覧ください。(6日(水)は冬休みのため投影します。)

ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

プラネタリウム 冬の投影テーマ

2021年の天文現象

1月31日(日)まで

1月	月	火	水	木	金	土	日
午後2時					1/1	2	3
午後2時	4	5	6	7	8	9	10
午後2時			☆			☆	☆
午後2時	11	12	13	14	15	16	17
午後2時						☆	☆
午後2時	18	19	20	21	22	23	24
午後2時						☆	☆
午後2時	25	26	27	28	29	30	31
午後2時						☆	☆



毎年恒例、1年間の天文現象を紹介する番組。2021年は“月食の年”。5月と11月の2回、月食が見られます。しかも5月は皆既月食!月食の原理やそれぞれの見え方を徹底解説します。もちろんそのほか、2021年に見られる主な天文現象を、プラネタリウムのシミュレーション機能をつかって再現。1年間の“予習”にお役立てください!

- ・定員：32名／自由席(座れる席は一席おきになります)
- ・観覧料：200円 (18歳未満65歳以上の方は無料／65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください)
整理券を当日午前9時より受付で配布(今回に限り代表者のみでも可、5枚まで)
その後、午後1時15分～午後1時45分に観覧券を販売
- ・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、午後1時45分までに3階にお越しください
- ・入場前に連絡先の記入と検温を行っていただきます(体温が37.5℃以上の方とそのお連れ様はご入場いただけません)
- ・マスクの着用をお願いします
- ・投影日時：右上の表を参照
- ・投影開始後のご入場、途中退場はできません

平塚郷土史入門講座 第1回 近世丹沢の環境と景観

1月24日(日)

郷土史の基本的な知識を学ぶ講座。ただ、近年は時事的な問題に関係するテーマも扱うようになってきました。今年度は昨年度に引き続き、災害に関するテーマを扱います。

第1回は江戸時代の丹沢の山々の様子を探ります。山の景観や環境は現代の様子とは異なっていたのでしょうか。丹沢の山々の環境は下流の平塚市域の村々にどのような影響を与えていたのでしょうか。人のくらしと自然環境の関係を歴史から考えます。



講師：早田旅人(当館学芸員)
時間：午前10時から午前11時30分(開場は9時45分)
会場：博物館講堂
定員：30名(全席座席指定、応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)
申込方法：往復はがき、または電子メール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に行事名・氏名・住所・電話番号を記入して申込み。(1通につき2人まで)
締切：1月12日(火)【当日消印有効(メールの場合は同日中)】
(第2回以降は後日お知らせします)

【平塚郷土史入門講座】今後の予定

第2回 2月21日(日) 平塚周辺の気象災害
第3回 3月21日(日) 神奈川県中郡における「スペイン風邪」の流行

歴史放談

第4回 武家社会の平塚と鎌倉

1月30日(土) —武家の都をめぐる栄枯盛衰—

歴史を学び歴史を楽しみながら平塚の歩みをたどる講座。

第4回は中世の歴史の主役となった「武士」。中でも永く歴史を動かし続ける坂東八平氏とその末裔たちの興亡をたどります。

講師：栗山雄揮(当館館長)
時間：午前10時30分から午前11時45分(開場は10時00分)
会場：博物館講堂
定員：30名(全席座席指定、応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)
申込方法：往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入、一枚につき一名)もしくは、博物館ホームページの応募フォーム申込み(右下のQRコードもご利用ください)
締切：第4回は1月18日(月)【当日消印有効】
(第5回以降は後日お知らせします)

【博物館長の歴史放談】今後の予定

第5回 2月27日(土) 小田原北条氏と徳川家康
—平塚の「今」を作った御所様の作戦—
第6回 3月27日(土) 最終章 地域の歴史と博物館
—一人に歴史あり まちに歴史あり—



1	金	年末年始休館		2021年の天文現象(1月31日まで)
2	土	年末年始休館		
3	日	年末年始休館		
4	月	休館		
5	火			
6	水		☆	
7	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
8	金	古文書講読会	講堂	
9	土	東国史跡踏査団	野外	
10	日	○最新天文学講座	講堂	
		天体観察会 定例会	講堂	
		天体観察会 太陽分科会初心者コース	講堂	
11	月			
12	火	休館		
13	水			
14	木	古代生活実験室	科学教室	
		石仏を調べる会	講堂	
15	金	○星を見る会	屋上	
		古文書講読会	講堂	
16	土	○天文学入門講座(申込受付終了)	講堂	
		地域史研究ゼミ	科学教室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	科学教室	
		地球科学野外ゼミ	講堂	
17	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
		生き物ズームプロジェクト	野外	
18	月	休館		
19	火	聞き書きの会	特別研究室	
20	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
21	木			
22	金	古文書講読会	講堂	
23	土	祭りばやし研究会	講堂	
24	日	○郷土史入門講座	講堂	
		天体観察会 天文学分科会	講堂	
25	月	休館		
26	火	天体観察会 太陽分科会	講堂	
27	水			
28	木	石仏を調べる会	講堂	
29	金			
30	土	○博物館長の歴史放談	講堂	
31	日		☆	

1	月	休館		2021年の天文現象(1月31日まで)
2	火			
3	水			
4	木	古代生活実験室	科学教室	
		展示解説ボランティアの会	講堂	
5	金	古文書講読会	講堂	
6	土	東国史跡踏査団	野外	
7	日		☆	
8	月	休館		
9	火			
10	水			
11	木	石仏を調べる会	講堂	
12	金	古文書講読会	講堂	
13	土	○天文学入門講座(申込受付終了)	講堂	
		地球科学野外ゼミ	野外	
14	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
		生き物ズームプロジェクト	野外	
15	月	休館		
16	火			
17	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
18	木			
19	金	古文書講読会	講堂	
20	土	祭りばやし研究会	講堂	
21	日	○郷土史入門講座	講堂	
		天体観察会 太陽分科会初心者コース	講堂	
		天体観察会 定例会	講堂	
22	月	休館		
23	火			
24	水	天体観察会 太陽分科会	講堂	
25	木	石仏を調べる会	講堂	
26	金	古文書講読会	講堂	
27	土	○博物館長の歴史放談	講堂	
		地域史研究ゼミ	科学教室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	科学教室	
		天体観察会 天文学分科会	講堂	
28	日		☆	

年末年始休館：～1月4日(月)

休館日：1月12日(火)、18日(月)、25日(月)

☆：プラネタリウム投影日 ◎：申込制行事 ◎：参加自由
無印：年間会員制 プ：プラネタリウム一般投影
特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

【来館のご案内】
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料：無料
プラネタリウム観覧料：200円(減免などの詳細は2頁参照)
休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日に振り替え)
年末年始・くん蒸・点検等
その他、予告なく休館する場合がございます
ご了承ください

皆様へのお願い

- ◎新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用など咳エチケットの徹底にご協力をお願いします。
 - ◎展示をご観覧の際は、他の来館者に手が届かない程度の距離を保つように心がけてください。
 - ◎展示室内での会話をお控えください。
 - ◎展示物にはお手を触れないようお願いいたします。
 - ◎以下のような方はご来館をお控えください
 - ・咳や37.5℃以上の発熱など、風邪のような症状のある方
 - ・過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬などをされた方
 - ・過去2週間以内に海外への渡航歴がある方
 - ・感染もしくは感染の疑いのある方が身近にいらっしゃる方
- ご協力お願いいたします

